



ウィズコロナ時代における中国のサプライチェーンの変化と対応

【プロフィール】

上海国際問題研究院研究員、同区域経済研究室主任、経済学博士。中華日本学会理事、中国日本経済学会理事。ドイツ発展研究所(DIE、2011年)、アメリカ戦略と国際問題研究センター(CSIS、2018年)などの高級訪問学者を歴任。研究分野は国際政治経済学、アジア太平洋経済経済関係、日本経済など。『米日経済摩擦』(2011、晃洋書房)など単著・論文多数。



陳友駿 氏

日 時：2023年2月19日(日) 14:00～16:30

使用言語：中国語(日本語通訳あり)

対 象：中国語学習者、中国に興味のある方

定 員：50名

参加費：無料

申込方法：右側のQRコードからお申し込みください



ウィズコロナ時代における 中国のサプライチェーンの変化と対応

コロナの影響とともに、世界規模で保護主義と単独主義の傾向が強まり、国際貿易に多大な影響を及ぼした。製品のサプライチェーン（Supply Chain）あるいはバリューチェーン（Value chain）は再構築の段階になっている。

その背景には、中国のサプライチェーンも再調整のフェーズに至ったことがあげられる。本報告では、中国の主要製品から着手し、IC製品、原油、鉄鉱物、銅、大豆、鉱産物資源など主要な製品の貿易構造の分析を試み、中国のサプライチェーンの構造調整がどのように進んでいるかを明らかにする。

また、主要国の経済安全保障意識の高まりをきっかけとして、中国のサプライチェーンの構造調整が一定の圧力を受けている。このことを踏まえ、その戦略的対応を提示し、一層の分析を進めていくことも本報告の狙いである。